

標 題	リース団地で剪定講習会を開催 － J A しまね平田柿部会－
-----	-----------------------------------

(ダイジェスト)

3月2日と5日、J A しまね出雲地区本部平田柿部会は平成28年度に植栽されたリース団地の剪定講習会を開催しました。講習会ではリース団地に入植している2名の若手生産者と若木の仕立て・剪定方法について検討しました。

J A しまね平田柿部会は、3月2日と5日に令和2年産から初収穫を開始するリース団地の若木剪定講習会を開催しました。当日は農業技術センターから講師を招き、今年で4年生となる若木の仕立て方、樹勢に応じた剪定方法について入植者とともに検討しました。

リース団地は平成27年度に部会で策定した産地活性化プランにおける具体的対策のひとつで、国、県、J A の事業を活用した総事業費約80百万円の大きなプロジェクトです。平成28年度から造成が始まり、総面積4.8haに西条柿2,600本の苗木が植栽され、令和2年産からの初着果が望めるまでに生育しました。

講習会では令和2年産のリース団地の目標収穫量について普及部から説明した後、講師が実際に若木を剪定しながら、目標とする樹形タイプ別の仕立て・剪定方法について説明しました。入植者からは成木にいたるまでの年次ごとの剪定手順、残す枝の選び方など多くの質問や意見があり、大変有意義な講習会となりました。

リース団地の成園化が進み、部会の念願の目標である販売額3億円の達成が目前となっています。普及部では今後もリース団地の栽培講習会を定期的で開催し、関係機関一体となって早期成園化に向けた支援を続けて行きます。



講習会の様子